



2017年12月28日

～ アドレノメデュリンを活用したペプチド医薬品の研究開発を支援 ～ QB 第一号ファンド 「ひむかAMファーマ株式会社」 への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、9 件目の投資案件となる「ひむか AM ファーマ株式会社（代表取締役 新城 裕司）」（以下「当社」）へ出資を行いましたので、お知らせします。

当社は、宮崎大学の北村 和雄 教授らが発見したアドレノメデュリン^{※1}を活用したペプチド^{※2}医薬品の研究開発を行う宮崎大学発のベンチャー企業であり、本ファンドにとって、九州大学以外の大学の技術シーズを活用して起業した先への初の投資案件です。また、代表取締役である新城 裕司 氏は、九州大学経済学府産業マネジメント専攻（九大ビジネススクール）の修了生です。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

^{※1}：1993年、北村 和雄 教授と寒川 賢治 氏（国立循環器病研究センター理事・研究所所長）により発見された血管拡張性ペプチド。潰瘍性大腸炎等の難治性炎症性腸疾患への効用が期待される

^{※2}：アミノ酸が結合した分子のこと

記

1. 対象企業の概要

会社名	ひむかAMファーマ株式会社
本社住所	宮崎県宮崎市清武町木原 5200 番地 宮崎大学清武キャンパス内
代表者	新城 裕司
設立	2017年2月
事業内容	アドレノメデュリンの新規創薬シーズの研究開発
資金使途	研究開発等に必要となる運転資金

2. 出資の理由

本件は、アドレノメデュリンを活用した医薬品の研究開発に取り組む当社下記の点を評価し、出資を行いました。

(1) 研究開発力

アドレノメデュリンの発見者の一人である北村 和雄 教授が顧問として参画しており、研究開発の精度が高く、実用化に向けた研究開発が進捗していること。

(2) 成長性

アドレノメデュリンを活用した医薬品は、近年、世界的に患者数が増加している難治性炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病等）に有効性の高い治療薬として期待されており、グローバルな事業展開が可能であること。

(3) 地域経済の活性化

大学の研究成果を活用した新たな事業の創出及びベンチャー企業の創業支援を行うことにより、地域経済の活性化が期待されること。

以上

参 考

『QB第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立したQBキャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

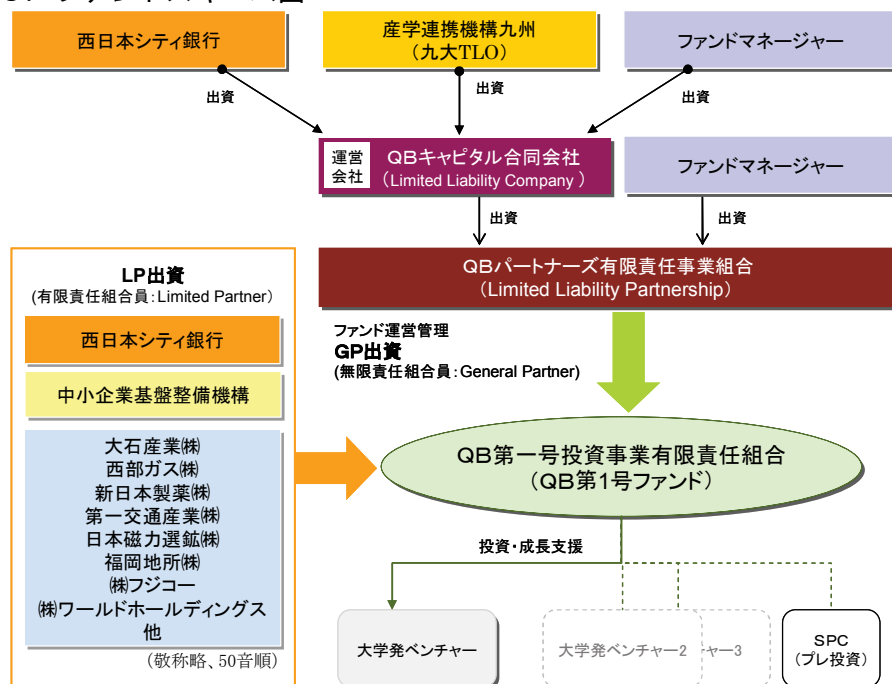
1. ファンドの概要

名 称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設 立 日	平成 27 年 9 月
フ ァ ン ド 総 額	約 31 億円
無 限 責 任 組 合 員 (GP : General Partner)	QB パートナース有限責任事業組合
有 限 責 任 組 合 員 (LP : Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存 続 期 間	10 年間

2. 運営会社の概要

名 称	QB キャピタル合同会社
設 立 日	平成 27 年 4 月
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出 資 者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 渡辺・多良木 TEL092-476-2741